
協力:朝日新聞社ジャーナリスト学校 <広報の学校>

「内部告発セミナー」のご案内

— 4月23日(火) 13:00~17:00—

広 報 の 学 校
(共同ピーアール株式会社)

拝啓 貴社ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

日本では最近も日産ゴーン事件をはじめ、品質データ偽装、燃費偽装、不正会計、無資格検査等、企業不祥事が続発し、ますます危機管理の重要性が再認識される日々が続いています。

こうした企業不祥事発覚の発端の80%以上が「内部告発」であることはすでに定説となっています。かつての日本の企業社会では、裏切り行為としてネガティブに捉えられていた時期があった「内部告発」は現在は不正を正すコンプライアンス強化の切り札として、まさしく企業社会に警鐘を鳴らす「ホイッスルブLOWER」として奨励されるべき勇気ある行為として認識されています。

2006年に制定された内部告発者を保護する「公益通報者保護法」も、保護対象者の退職者・役員への拡大、大企業の通報制度設置義務、通報対象事実の拡大と要件緩和等が検討されています。

本セミナーは三部構成で、内部告発の実情、意義から、事例、内部通報制度の基礎知識、対応のポイントまでをトータルに学び、内部告発と危機管理の基礎知識を習得する専門講座です。

危機管理の基礎、実務教育の一環としてご参加下さいますようご案内申し上げます。

敬具

「内部告発セミナー」実施概要

- 対象者: 広報、総務、危機管理、コンプライアンス部門の責任者・担当者
- 協力: 朝日新聞社ジャーナリスト学校
- 日時: 2019年4月23日(火) 13:00~17:00 <受付開始 12:30>
- 講師: 奥山 俊宏 (朝日新聞 特別報道部 編集委員)
呉 慶和 (PR 総研客員研究員、工学院大学大学院システムデザイン専攻講師)
篠崎 良一 (PR 総研主席研究員、広報の学校学校長、危機管理広報コンサルタント)
- 会場: 広報の学校 銀座教室(共同ピーアール株式会社 研修室)
東京都中央区銀座7-2-22 DOWAビル3F
- 定員: 35名

- 受講料: 3万円 (消費税、レジュメ・資料代含む)
- 申込方法: 受講申込書にご記入の上、FAX でお申し込みください。
- 締め切り: **4月22日(月)必着** ※お申し込み順、定員になり次第締め切りとさせていただきます。
- 支払方法: 下記の口座にお振込み下さい。(振込期限:2019年5月31日)
 みずほ銀行(0001) 八重洲口支店(026) 普通預金 口座番号:2677982
 口座名義 : 共同ピーアール株式会社セミナー口
 口座カナ : キョウドウピーアール(カ)セミナーグチ

※当日現金でのお支払いも可能です。(申込書通信欄にご記入ください。領収書を発行いたします)
 ※お申し込みが少数の場合、実施しないこともございます。(受講料は返金いたします)
 ※受講をキャンセルされる場合は前日までにご連絡ください。ご連絡がない場合、受講料の返却はできかねます。

【お問い合わせ先】

共同ピーアール株式会社 広報の学校 事務局 大八木、篠崎、上 瀧
 TEL: 03-3571-5179 / FAX:0120-653-545 / e-mail: kohonogakkou@kyodo-pr.co.jp

「内部告発セミナー」カリキュラム

時 間	テーマ	内 容	講 師
第1部 13:00~14:30	メディアと内部告発	パナマ文書／メディアと内部告発の社会的意義／調査報道／内部告発を受けた記者・編集者の判断／裏付け取材／告発者のリスク／取材源秘匿／告発から報道までのプロセス、手順／メディアの態勢／公益通報者保護制度	奥山 俊宏
14:30~14:45	休 憩		
第2部 14:45~15:45	調査結果から見える内部告発意識の変化	内部告発に関する3回の調査結果(2003年、2013年、2018年) から見える内部告発への意識変化を報告	呉 慶和
15:45~16:00	休 憩		
第3部 16:00~17:00	内部告発研究	内部告発社会化の背景・トレンド／公益通報者保護制度の概要／海外の保護制度／内部告発事例研究／企業の内部通報制度 他	篠崎 良一

<講師プロフィール>

■奥山 俊宏

朝日新聞 編集委員

1966年岡山県生まれ。1989年、東京大学工学部卒、朝日新聞入社。水戸支局、福島支局、東京社会部、大阪社会部などを経て特別報道部。

著書『秘密解除 ロッキード事件 田中角栄はなぜアメリカに嫌われたのか』(岩波書店、2016年7月)で第21回司馬遼太郎賞(2017年度)を受賞。同書に加え、福島第一原発事故やパナマ文書の報道も含め、日本記者クラブ賞(2018年度)を受賞。

2011年より「ICIJ」(国際調査報道ジャーナリスト連合)メンバー。パナマ文書、ルクセンブルグ文書など租税回避地に関する秘密文書の解析、報道に参加。

著書に『パラダイス文書 連鎖する内部告発、パナマ文書を経て「調査報道」がいま暴く』(朝日新聞出版)、『内部告発の力 公益通報者保護法は何を守るのか』(現代人文社)、『ルポ 東京電力 原発危機1カ月』(朝日新書)他がある。共著に『偽装請負』(朝日新書)、『ルポ 内部告発 なぜ組織は間違うのか』(同)、『検証 東電テレビ会議』(朝日新聞出版)など。

■呉 慶和

PR 総研客員研究員、工学院大学大学院システムデザイン専攻講師

東京理科大学理学部応用化学科卒。理想科学工業、日本カラーデザイン研究所、トータルメディア開発研究所、日本アプライドリサーチ研究所経営・マーケティング開発室取締役主幹研究員を経て現在、株式会社ドゥリサーチ研究所主幹研究員データストラテジスト、工学院大学大学院システムデザイン専攻講師。

専門分野は「調査」「ブランド開発」「ブランドメッセージ開発」「ブランドVpI開発」。

著書に『再入門利益が上がる「市場調査」のやり方』。マーケティングサイエンス学会、オペレーションリサーチ学会、各会員。

■篠崎 良一

PR 総研主席研究員、広報の学校学校長、危機管理広報コンサルタント

早稲田大学第一文学部社会学専攻卒。出版社(日本実業出版社、ローリングストーンジャパン)を経て、共同ピーアール(株)入社。取締役副社長を経て現職。2003年5月『広報の学校』を開校。2013年1月『PR 総研』を設立。企業・団体の広報・危機管理コンサルティング、広報・危機管理研修担当。

危機管理では欠陥商品、リコール、企業不祥事、訴訟問題、企業機密・個人情報漏洩、内部告発、差別・人権問題等、数多くの危機管理実務、クライシスコミュニケーションのコンサルティングを実施。(クライシス)メディアトレーニング、マニュアル制作、危機管理調査も担当。

著書に『入門メディアトレーニング』(アニモ出版)、『実践企業広報マニュアル』、『会社を守る!もしものときのメディア対応策』(共にインデックス・コミュニケーションズ)、『広報・PR概説』(共著、同友館)、『広報・PR実践』(共著、同友館)、『パブリックコミュニケーションの世界』(共著、北樹出版)他がある。(社)日本PR協会認定『PRプランナー』試験委員。

広報の学校『内部告発セミナー』係

FAX: 0120-653-545

※キャンセルは前日までに必ずご連絡ください。

広報の学校『内部告発セミナー』申込書

日 時:2019年 4月23日(火) 13:00~17:00

会 場:広報の学校 銀座教室(共同ピーアール(株) 研修室)

東京都中央区銀座7-2-22 DOWAビル3F

申込日: 2019年 月 日

御社名			
部署・役職名			
御名前			
御住所	〒		
電話		FAX	
e-mail			
請求書	要 ・ 不要 (どちらかに○)		
請求書の送付先	※上記と異なる場合のみ、ご記入ください。		
≪通信欄≫			

■お申し込みされた方が参加できない場合の代理参加は可能です。

■受講をキャンセルされる場合は、前日までにご連絡ください。ご連絡がない場合、受講料の返却はできかねます